

学校だより 熱砂

<発行>
令和2年3月1日
発行責任者：校長
和田 政男

おたよりの発行、一カ月以上間が空き、申し訳ありません。本来であれば、生徒の活動を紹介すべきお便りですが、すでに各学級で「ミナレ発表会」「生活発表会」「さわやかタイム」などの取り組みが紹介されております。

この間、学校ではKHDAによるインスペクションがありました。この機会に皆様にもKHDAやインスペクションについて情報を共有しておきたいと思っております。

「KHDA」というお役所

Knowledge and Human Development Authorityの略で、ドバイの私立学校を統括しているお役所です。学校の情報は全てアップし、生徒・先生・職員もすべて登録し、学校パーミットをいただき、学校運営することになります。

「KHDAインスペクション」とは

毎年、3日間にわたって行われます。

1 概要

今年は2/10～2/12の3日間、8名の査察官によるKHDAインスペクションが行われました。予め、学習成績や時間割等、多くの学校情報をネット上からアップロードし、保護者アンケートもネット上で行われました。ご協力ありがとうございました。

査察官は、学校からアップロードされた情報や自己評価を参考にしながら、授業参観の他、多くの教員との面談、保護者面談、理事長面談、生徒との面談を行い、朝から生徒の下校まで、学校を観察しました。

2 インスペクションの結果

生徒の学力状況、授業への参加状況、資質、態度など、高く評価されました。また、先生方の技術、資質の高さも高く評価されました。生徒と教師の関係や保護者と学校の関係も高評価でした。

評価が低く、指摘いただいた事項は、アラビア語の授業数が基準を満たしておらず、UAEに関するソーシャルスタディがそもそも実施されていないこと。まずは、「この国の規則に従わなければならない」ということでした。

また、特別支援に関しても、規則に従い、今後、校内に特別支援に関する委員会を設置しなければなりません。

総合評価としては、昨年までと同様「Good」という評価になりそうです。(Goodは真ん中ぐらいの評価)

3 反省

このインスペクションによる評価は、日本の評価法とは趣を異にしており、インスペクションの概要を職員全員が理解し、一年かけて準備しなければ対応できるものではありませんでした。

アラビア語の時間数やUAEソーシャルスタディ、特別支援等、UAEの規則に沿う努力を今後してゆかなければならないと感じました。

4 対策

KHDAインスペクションの鍵となる、「フレームワーク」を年度初めに職員全員に配り、インスペクションの仕組みを理解することで、これまで同様の教育実践がKHDAインスペクションに耐えられる実践になってくるのではないかと考えております。

アラビア語の授業を増やす、UAEソーシャルスタディの時間を設定するという点については、「総合的な学習の時間」の在り方を見直し、日本側から見れば総合の時間、UAE側から見ればアラビア語とUAEソーシャルスタディの時間に見えるように工夫したいと思います。

特別支援に関しては、理事会とも相談しながら特別支援委員会という校内組織を作り、この委員会で指導の改善に関する提案をまとめたいと思っております。

理事会にも学校の状況をより深く理解していただくために生徒の学力状況の実態等、多くの学校の情報を理事会に報告してまいりたいと思っております。

日本の学習指導要領に基づき、日本同様の教育を展開できることが本校の使命のひとつと考えております。そこを外さないようにし、これまでと同様の教育実践が、KHDAが示すフレームワークにどう重なり、どこを補えばUAEの規則に沿った運用になるのかを意識しながら、次年度の学校経営を行ってまいりたいと思っております。

3名のバスドライバーさん、ご退職 永い間、本当にお世話になりました。

今年度は、本校がスクールバスの運行をお願いしているバス会社との契約更新の年でした。この機会に学校運営理事会は6台のスクールバス全てを外注することに決めました。これに関わり、本校に長くご勤務いただいた3名のドライバーが3月末で退職することになります。

- ・ Joseph Daniel さん (開校以来 40年勤務)
- ・ Mohamed Rafeek Jabbar さん (12年勤務)
- ・ Tanuka Ruchiranga さん (11年勤務)

次年度のスクールバスはこれまでと同じバス会社と契約いたしましたので、ドライバーとバスアテンダントの多くはこれまでと変わりません。

退職される皆さん、今後ともお元気でご活躍ください。